

競争力のある原料の安定供給と安全対策

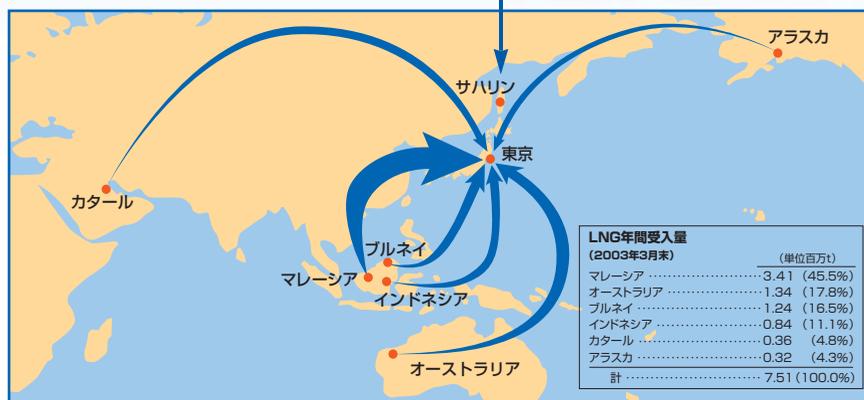
東京ガスでは、競争力のある原料を安定的に調達するとともに都市ガスの製造・供給・使用まで、多様な防災設備を導入した安全対策にも万全を期しています。

競争力向上と柔軟性拡大を目指した新規LNG契約

当社は現在、6カ国から年間750万トンのLNGを輸入していますが、将来のガス需要の増加に対応するために、さらなる供給源の導入検討を進めています。2004年以降、マレーシア第3プロジェクト、西豪州拡張プロジェクト、ダーウィンプロジェクトから順次供給が開始される予定です。さらに2003年5月にはサハリンIIプロジェクトとの間でLNG売買の基本合意契約を締結しました。同プロジェクトは、ロシアから極東アジア向けの初めての天然ガス供給であり、埋蔵量が豊富で需要地へ近いという大きなメリットをもっています。これらの新規プロジェクトにおいては有利な契約条件を獲得するとともに、自社船の活用を組み込むことによりLNGのさらなる競争力向上と柔軟性拡大を目指していきます。



東京ガスのLNG供給体制図



サハリンIIプロジェクトのLNG購入に関する基本合意書調印式

安定供給のための取り組み

安定的かつ経済的な原料調達の実現を目指すその一方で、当社は都市ガスの安定供給のため、製造・供給・使用に至るまで、万全な防災設備を整え、安全確保に努めています。防災・供給センターでは、安定供給と大規模地震などの初動措置を最適かつ安全に行うための供給操作システム・TGCS (Total Gas Control System)により、製造から供給までを24時間体制で監視・制御しています。

万全な安全対策

都市ガス供給システムの安全性を脅かす地震による災害については、当社は「予防」・「緊急」・「復旧」の3本柱で万全の地震対策を行っています。予防対策では、製造・供給設備に最新の耐震設備を施した設計をしています。また、ガス漏洩防止のための緊急措置として、世界一超高密度地震システムを構築し、二次災害発生の危険度を大幅に低減させる対応をとっています。一方、ガス供給を停止した場合の復旧対策では、安全かつ早急な供給再開を行うため、最も効率的な復旧計画を決定する復旧支援システムも開発・整備しています。